



Spring/Summer Issue  
May 24, 2021

## Contents

Pages 1-2.  
会長のご挨拶  
ベイラー大学 プレフューメ先生

Pages 2-3.  
テキサス日本語スピーチコンテスト  
を振り返って  
ラサ高校 カーシュ先生

Pages 3-4.  
スピーチコンテスト・オースティン地区  
大会実践報告  
ベイラー大学 藤井先生

Pages 4-5.  
JTATゆるキャラの作者から  
Texas A&M 大学  
Vargas-Calderon さん

Pages 5-7.  
JTATイベント・夏の勉強会  
実施報告  
Texas A&M 大学 ワー先生

Pages 8-9.  
教育機関でのITセキュリティー  
と教育者  
ベイラー大学 熊畑先生

Page 9.  
Digital Japan Bowl  
ラサ高校 カーシュ先生

Pages 9-10.  
JTAT新会員紹介  
コロナド高校 ファルボ先生  
オールセインツ高校 松崎先生  
テキサス工科大学 北橋先生

Page 11.  
JTAT 東京五輪音頭  
YouTube再生回数10,000回  
突破しました！  
ベイラー大学  
プレフューメ先生

編集後記

# ニューズレター春・夏号

テキサス日本語教師会

Japanese Teachers Association of Texas

## 会長のご挨拶

テキサス日本語教師会 会員の皆様

新型コロナウイルスワクチンの接種が進むにつれ、徐々に日常生活が戻りつつあるようです。まだまだ予断は許せませんが、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、2021年度は、理事の福田先生（UT San Antonio）と副会長兼任の尾崎先生のご助言をもとに、私会長のプレフューメ（Baylor University）、副会長の尾崎先生（Rice University）、カーシュ先生（Lasa High School）、秘書のワー先生（Texas A&M）、会計の北條先生（Woodland College Park High School）の五名で役員を務めさせていただいております。

今年は東日本大震災から10年という節目を迎え、JTATでは1月に日本語教師対象、4月には日本語学習者を対象に、東日本大震災被災者である佐藤誠悦氏に日本から2回に渡り講演をしていただきました。そして、2月と3月には、コロナ禍に加え、100年ぶりとも言われたテキサスの大寒波も乗り越え、オースティン、ダラス、ヒューストン、サンアントニオ地区で日本語スピーチコンテストの地区大会が無事開催されました。これも各地域の先生方を始め、日米協会、日本人会などのご協力のおかげだと感謝しております。さらに、州大会は、オンラインという初めての形式にもかかわらず、ヒューストン日米協会ならびに日本領事館のひとかたならぬご尽力により、素晴らしいスピーチコンテストを開催していただき、改めてテキサス州の日本語学習者、および日本語教育関係者の熱意に感銘を受けました。4月には、AATJ副会長の札谷慎吾先生をお招きし、オンラインで勉強会を実施いたしました。秋にはライス大学の尾崎先生を講師としSIGを予定しており、引き続き会員の皆様のご希望にお応えできるようなイベントを企画していきたいと思っております。



去年からの新しい試みとしては、特別なイベントがない月にJTAT Zoomコーヒータ임을開いております。毎回テキサス州だけではなく、州外や日本からも会員の方々にご参加いただき、オンラインでおしゃべりをしながら楽しくリラックスしたひと時を過ごしております。トピックは事前に決めておりませんので、好きなトピックやご質問がございましたら、お気軽にお話しただけです。お時間が許すようでしたら是非ご参加ください。

新しい試みと言えましょう一つ良いお知らせがございます。今年も国際交流基金の助成金が採択されました。今回は、勉強会とSIGの運営費、ならびに学会の参加登録料の援助に加え、JTATのプロモーショングッズも助成の対象になりました。これらの詳細につきましては改めてご連絡差し上げる予定ですが、参加登録料情勢に関しましては、会員の方でご所属先の学校から学会の参加登録料の援助がない場合は、JTATよりACTFLとTFLA参加登録料の一部援助が可能になりますので、普段これらの学会に参加できない方々も、今年はお検討なさってはいかがでしょうか。

最後に私事ではありますが、この度ベイラー大学のOutstanding Faculty for 2020-2021を受賞いたしました。ちょうど同じ時期に長女も2020 DFW Senior Counsel of the Year Awardを受賞することになり、二重のお祝いが重なりました。これもBaylorやJTATの良き同僚や家族に恵まれたおかげだと心から感謝しております。

本学年度はコロナ禍においてニューノーマルという言葉が身近に浸透した感じがありますが、秋学期には多くの学校が再び対面式に戻りつつあるようです。まずは、皆様が夏休みをごゆっくり、健康かつ安全にお過ごしなされることを心からお祈り申し上げます。



JTAT会長 ベイラー大学  
プレフューメ裕子

## テキサス日本語スピーチコンテストを振り返って

Liberal Arts and Science  
Academy高校  
JTAT副会長 カーシュ弘子

昨年はコロナの影響で中止になってしまった州大会ですが、今年は無事、3月13日土曜日に開催することができました。様々なイベントが中止せざるを得ない中、オンラインという新しい形で州大会を行うことができたのは日本語学習者にとっても非常に意義深いものであったと思います。主催者のJASHをはじめ、審査員を快く引き受けてくださったRomanowich先生とFalvo先生、地区大会を開催して下さった各地区の担当者とボランティアの方々、そして参加生徒を指導して下さった先生方、皆様、本当にありがとうございました。

それぞれの地区大会を勝ち進み、州大会に参加者した皆さんの功績を称え、お名前を掲載させていただきます。

### Poetry Division

#### Austin Region

Isel Jimenez (LASA High School)

Peace Sabibo (Lively Middle School)

#### Dallas Region

Vivian Liang (Lake Highlands High School)

州大会2位

Ghania Ewelike (Richardson High School)

#### Houston Region

Emma Wang (William P. Clements High School)

Johanna Wen (Bellaire High School)

#### San Antonio Region

Narah Monreal (Churchill High School) 州大会1位

Lauren Tippin (Boerne Samuel V Champion High School) 州大会3位

## Haiku Division

### Austin Region

Chaitanya Ghatty (LASA High School) 州大会3位

Malia Walewski (McCallum High School)

### Dallas Region

Ivy Nguyen (Berkner High School)

Aidan Blevins (The Colony High School)

### Houston Region

Sarah Vu (William P. Clements High School) 州大会1位

Dilara Muslu (Bellaire High School)

### San Antonio Region

Aidan Sisneros (Johnson High School)

Sidney UyTesy (Johnson High School) 州大会2位

## High School Free Speech Division

### Austin Region

Elena Mouer (LASA High School)

Mandala Pham (LASA High School)

### Dallas Region

Shaina Albert (Richardson High School)

Catharine Day (Richardson High School)

### Houston Region

Hayagreev Jayaram (Bellaire High School) 州大会3位

Brian Huynh (Bellaire High School)

### San Antonio Region

Elianna Moore (Johnson High School) 州大会1位

Leeza Mushtaq (Johnson High School) 州大会2位

## Free Speech College/University Division

### Austin Region

Gavin Wurm (University of Texas at Austin)

Ella Barton (University of Texas at Austin)

### Dallas Region

Matthew Ho (Baylor University) 州大会1位

Rolani Pannullo (Texas Christian University) 州大会3位

### Houston Region

Yanyu Zhong (Rice University) 州大会2位

Xianglong Gao (Rice University)

### San Antonio Region

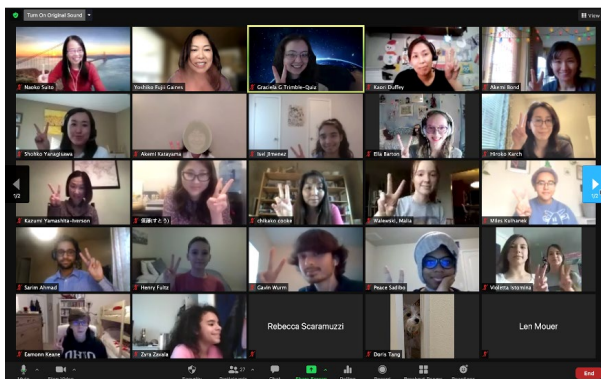
Jacob Makalena (University of Texas at San Antonio)

Michaela Mendez (San Antonio College)

## スピーチコンテスト・オースティン地区大会実践報告

ベイラー大学 藤井佳子

オースティンでは、毎年2月の土曜日にテキサス大学オースティン校のキャンパスで地区大会を実施していますが、この2月はパンデミックの影響でテキサス大学の日本語の授業がオンラインで実施されていることもあり、早い時点でビデオ審査での実施を決定しました。詩の暗唱部門と俳句部門は例年通り各中学・高校で2名ずつ選出した上でGoogleフォームを使って申し込みを、他の部門は直接申し込みをしてもらいました。今回は申し込みの時点で発表の動画も提出してもらいました。締め切り後に各部門審査員3名が動画を視聴しスコアをつけ、その後Zoom審議を行い入賞者が決定しました。その後記録的寒波の影響で、2月21日に予定していたZoomでの結果発表が1週間延期となりましたが、約30名が参加して2月28日(日)午後にはライブ結果発表会を実施しました。



オースティン地区大会の様子

今回ビデオ審査にしたおかげで、ワシントン、コネチカット、そしてペンシルバニアで教鞭をとっていらっしゃる先生に審査員として参加していただくことができました。また、JETプログラムで活躍していらしたテキサス大学の卒業生が司会をしてくださいました。州大会のような趣向を凝らしたイベントとまではいきませんでした。寒波の影響



も最小限で地区大会を実施することができ、オースティン地区大会入賞者が全員州大会に参加し、結果的にはいい形でできたと思います。ぜひ、この経験で学んだことを今後の地区大会に反映させていけたらと思います。ご協力いただいた先生方にも心より感謝申し上げます。

オースティン地区大会コーディネーター  
テキサス大学オースティン校 水藤直子  
LASA高校 カーシュ弘子  
ベイラー大学 藤井佳子

## JTATゆるキャラコンテスト

ベイラー大学 プレフューメ裕子

昨年募集をしたJTATゆるキャラコンテストの結果をご報告します。コンテストの応募は高校生と大学生を合わせ全部で7作品ありました。最優秀作品としてTexas A&MのBrayden Vargas-Calderonのアルマ大名が選ばれました。応募作品は次のページの写真のように手作りのぬいぐるみだったので、同大学のSamantha Hallamがイラストを描いてくれました。二人にはJTATから\$30ずつのギフトカードを贈呈しました。この先JTATのプロモーショングッズ作成などに利用する予定です。

## JTATゆるキャラの作者から

かなりの厳選となりましたが、「日本語学習」や「テキサス」を表すアルマジロの大名をモチーフとしたものに決定しました。作者はテキサスA&M大学の学生のBrayden Vargas-Calderonさんで、アルマ大名のデザインに込めた思いを綴ってくれました。



.....

テキサスA&M大学

Brayden Vargas-Calderon

Designing アルマ大名 was a very fun and creative experience, providing many opportunities to incorporate symbolism in his design, character, and other traits.

To start with, I chose an armadillo as the mascot animal because of its connection to Texas as well as its round shape, which I felt fit the concept of a ゆるキャラ very well. I decided that the ゆるキャラ would be a samurai-like warrior to represent the determination of students to study Japanese and to reflect how, just like many Texas students are choosing to expand their perspective and learn about a new language and culture, アルマ大名 is a Texas armadillo that became a Japanese warrior.

アルマ大名's equipment also provided an opportunity to apply symbolism. He uses a pencil as a weapon instead of a sword because his quest, and that of students learning Japanese, is one of knowledge.



His armor, both natural (as an armadillo) and worn, provides him with the ability to be dealt a blow and still carry on. Similarly, learning a language is a difficult task; whether in learning the phonology, grammar, or vocabulary of a new language, almost every language learner will encounter some difficulty. The ability to encounter these roadblocks and work to overcome them, rather than admit defeat, is an essential skill for students of Japanese.

Finally, アルマ大名's cowboy hat/kabuto helmet, a combination of two different cultures, reflects the cooperation and connection between cultures that every student of Japanese contributes to and participates in, from beginners to fluent speakers. This cultural exchange enriches the diversity of ideas and perspectives in both cultures and equips students to act as global citizens in an increasingly connected world.



~~~~~  
大名の力強さとアルマジロのかわいらしさが合体したゆるキャラで、これから先、JTAT会員と共に大活躍してくれることと思います。

## JTATイベント・夏の勉強会 実施報告

テキサスA&M大学  
JTAT書記 ワー由紀

### 1. 東日本大震災10周年記念特別オンライン・ミニフォーラム「震災の記憶を風化させないために」

1月17日に主に日本語教員を対象とした東日本大震災10周年記念特別オンライン・ミニフォーラム「震災の記憶を風化させないために」が開催されました。アメリカ・日本から合計93名の方が参加申し込みをしてくれました。

前半の部では、JTAT会長プレフューメ裕子先生の挨拶の後、福島秀夫在ヒューストン日本国総領事、南三陸町佐藤仁町長からお言葉をいただいてから、佐藤誠悦氏に講演をしていただきました。佐藤氏は東日本大震災時に気仙沼消防署指揮隊長として気仙沼津波火災、救助、人命検索に従事なさっていた時の体験を話してくれました。後半の部では、ベイラー大学のプレフューメ裕子先生、上智大学のリード真澄先生、ノーステキサス大学の竹内弥生先生、パデュー大学の畑佐一味先生による東北被災地での活動報告・パネルディスカッションがありました。

ミニフォーラム終了後、参加者の皆様から多くの反響が寄せられましたので一部を引用させていただきます。

実体験のお話をお聞かせいただき、胸があつくなり、涙をぬぐわずにはいられず感動しました。ありがとうございました。

本当にありがとうございました。涙が止まりませんでした。今回お話を伺ったことをきっかけにアメリカの日本語教師として何ができるか考えていきたいと思えます。

大変なご経験をお話しして下さい、ありがとうございます。津波の映像が流れる前に佐藤さんが注意をして頂いたとき、アメリカに住んでいた私でさえ、二週間ほど毎日そのような津波の映像を見ることで、毎日涙が止まらず落ち込んでいたことを思い出しました。震災後二年はお話できなかったということや、消防士の方々もPTSDなどで苦しまれたことを伺い、そのようなお話が何万もあったことを改めて感じました。佐藤さんがおっしゃっていたように、私も震災の記憶を忘れずに学生にも伝えて行けたらと思います。

非常に辛い経験をなさっているところ、こういった講演活動を続けていらっしゃるごこと、アメリカの学生を含め、様々な方達と積極的に交流なさっていることに胸を打たれました。また、奥様やご家族への深い愛情が伝わってきて、お話を伺いながら、涙が出ました。今後もお元気に活動を続けられますように魂を揺さぶられるご講演ありがとうございます。「言えない言葉の中に真実がある」。この言葉にぐっときました。涙なしではご講演を拝聴することはできませんでした。佐藤さんの語り部活動のおかげで、映像や読み物からは読み取ることのできない「痛み」を共有させていただき、10年たった現在も心の復興は生涯続くものだと再確認いたしました。震災については、時間が経つほど「自分ごと」として捉えるのが難しくなってきます。

どうぞお体を大切に、今後とも語り部活動を通して私たちに震災について教えてください。ありがとうございました。

参加者の皆さんからの感想を佐藤氏にお送りしてから、「感想を拝読し涙がポロポロ出てきて、文字が読めなくなりました。」というメールをいただきました。また、参加者からアンケートに語り部活動をなさっている方の人数を知りたいという質問がアンケートに書かれていたのですが、現在コロナで活動は休止されていますが、南三陸町観光協会に8名、気仙沼観光協会に6名いらっしゃるということです。

講演の様子は東北放送で放送されたり、Yahoo Japanニュース、読売新聞宮城版、河北新報 (<https://kahoku.news/articles/20210120khn000021.html>) に掲載されました。

## 2. Ten Years On, Honoring the Memory of Great East Japan Earthquake and Tsunami Webinar

大震災ミニフォーラムに参加した先生方からのご要望により、4月10日に主に学生を対象とした佐藤誠悦氏による東日本大震災10周年記念特別ウェビナー「Ten Years On, Honoring the Memory of Great East Japan Earthquake and Tsunami Webinar」が実施されました。高校生、大学生、教員を中心に153名の方の参加のお申込みがあり、佐藤氏の講演中は通訳者のバンクス有紀さんに逐次通訳をしていただきました。

参加した学生は、以下のような感想を述べていました。

*Admire his continuing effort of "storytelling".*

*Thank you for sharing your story. You have changed how I view my own life and how I can help those around me.*

JAPANESE TEACHERS OF ASSOCIATION OF TEXAS PRESENTS  
東日本大震災10周年  
特別オンライン・ミニフォーラム  
震災の記憶を風化させないために

日本語教師の役割とは何でしょうか。もちろん、日本語を教えることは最重要ですが、英語教師を通して英語圏外に私たちが教えられることはたくさんあると思います。このフォーラムでは、震災10周年を迎え、風化しつつある東日本大震災を回顧し、本質的な災害の教訓を日本語教師としていかに活かすか、若者の人間教育に役立てていけるかを参加者の皆さんと一緒に考えたいと思います。

開催日：2021年10月17日 日曜日  
10時~21時 アメリカ中部時間 (CST)  
(PST) 17時~19時 (EST) 20時~22時  
<日本時間 18日 月曜日 10時~12時>

プログラム：  
<前半>  
「命を守る」  
19:00~19:20 オープニング挨拶  
福島県浜田高等学校 日本国総領事  
福島県浜田高等学校 校長 伊藤 啓  
19:20~20:05 基調講演 「命を守る」 佐藤誠悦氏  
東日本大震災時気仙沼消防署指揮官として救出活動、救護、人命検索に従事  
<後半>  
「日本語教師としてできること」  
20:10~20:45 東北被災地での活動報告、パネルディスカッション  
リード講師 上野大学非常勤講師  
竹内 雅生 フォリスチカス大学 上席講師  
プレフューメ 柚子 ベイラー大学 上席講師  
20:45~21:00 Q&A  
21:00 閉会  
21:00~21:30 アフター トーク

・参加費用：無料 東日本大震災関係の寄付(任意)  
・定員：最大300名 前半の講演のみ参加可  
・申し込み方法：オンラインフォームから申し込み  
<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQL5d4yNkHk7Lud2g-ykEYyQgXcHag1V1CkQvVDC6LJ7JLmZNXA/view/form>

テキサス日本語教師会主催 / ベイラー大学協賛

*Thank you very much for sharing your story. It was very moving. 涙があふれました。*

*I was very moved by your speech's emphasis on togetherness and how people of different backgrounds can come together to support each other.*

*While sad and tragic, Mr. Sato's webinar brought hope and assured that life is important. I am glad that I was able attend. My prayers for those who lost their lives from the earthquake/ tsunami. Thank you.*

*Thank you so much for sharing your story! Your courage and passion for life are inspiring. I hope to lead my life in the ways you described. Thank you again!*

*Thanks for sharing your story and your efforts despite your personal loss, you're a hero.*

*Thank you for sharing your story. It was so sad to here what you had to go through, but also inspirational. Despite the hardships you faced, you pushed through and decided to make change in your community. You are a very inspirational man and I thank you for the life lessons you taught us today.*

### 3. 夏の勉強会

国際交流基金の助成を受け、4月25日にZoomによる夏の勉強会を実施いたしました。講師としてデュページ大学の札谷新吾先生に「自己決定理論」に基づいた学習者主導の活動について教えていただきました。テキサス州外からの参加者も含めて24人の先生方が出席してくださいました。



勉強会終了後の参加者アンケートでは、以下のようなコメントが書かれていました。

3つの心理的欲求(自律性、有能性、関係性)という部分が興味深かった。

内発的動機づけの重要性、動機づけのダイナミズムについて学びました。実際に動機づけを高める方法を授業に取り入れる際、「自律性、有能性、関係性」を意識し、課題やアクティビティーをデザインするようにします。

*When I design my lesson plans and tasks, I plan to think how I can increase students' intrinsic motivations.*

*This workshop provided us with an opportunity to rethink and reevaluate our course designs, which facilitates developing life long learners of Japanese language and culture.*

*I learned that a detailed analysis of student motivation can provide interesting insights into their study habits and opinion of the course. I would like to analyze my student's motivation over four years as I see my students progress through the program and try to foster an introspective look at their studies and habits.*

*I want to apply the three factors for SDT that I learned today to everyday lesson, not just to major projects.*

学生にどのように動機を与えるかその効果などとてもいい勉強になりました。

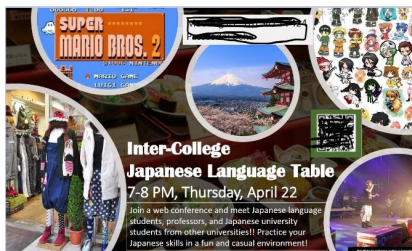
JTATでは、1年に1回夏の勉強会、1年に2回SIG勉強会を実施しております。次回の勉強会は秋のSIG勉強会となりますが、会員からご要望がありJTAT副会長ライス大学の尾崎直子先生に担当していただくことになりました。2022年春のSIG勉強会、夏の勉強会のテーマや講師の先生を募集しておりますので、リクエストがありましたらJTAT役員までご連絡ください。よろしく願いいたします。



## Inter-College Japanese Language Table

ベイラー大学 プレフェューメ裕子

4月22日木曜日に大学合同オンライン日本語会話テーブルを試験的に実施しました。初めての試みだったので参加人数の予測ができませんでしたでしたが、最終的にはテキサス州内から Baylor University, Texas A & M, University of Texas at Austin, North Texas University, Texas Christian University, 日本から法政大学の学生30名以上が参加しました。最初に簡単なオリエンテーションを行い、Zoomのホストのベイラー大学の学生がパワポで大学紹介をしてから、各自ブレイクアウトルームに分散して、自由なお喋りをしました。ブレイクアウトルームは Anime/Manga, Game Fans, Music and Karaoke Fans, Fashion and Cool Japan, Food and Travel などのトピックに分け、最も人気のあったトピックはAnime/Mangaでした。



以下、参加した学生の感想をいくつかご紹介します。

「楽しかったです!好きな部屋に移動できてよかったですし、どこの部屋に行ってみてもみんな日本語を積極的に話していて雰囲気良かったです。とても楽しめました。ありがとうございました!来学期もまたよろしく願いたします。」

“It was fun to talk about things you are interested in with students from other schools.”

“Was very fun and I liked being able to use my Japanese with various people, I liked the breakout topic rooms as well.”

“It was really fun! Maybe it would have been a little more fun if there were prompts within the different groups that we could follow in order to spur more conversation.”

全体的に参加して良かった、他の大学の日本語の学生と交流ができて良かったというコメントが

多く見られ、同じような興味や志を持った学生同士の交流は、互いの励みになるということが確認されました。新学期からは、各大学がホストを順番に務めながら月に一度ぐらいのペースで続けていく予定で、将来的には高校生が参加できるイベントも企画できると良いと思っています。

## 教育機関でのITセキュリティーと教育者

ベイラー大学 熊畑一

新型コロナウイルス感染症のパンデミックとロックダウンは、世界中の多くの個人や組織に影響を及ぼした。教育機関はコロナ以上のパニック寸前にまで陥ったのではなかったでしょうか。教室内から遠隔学習へと移行して、その授業をどうやって駆使していくか、どの様なテクノロジーを導入することにより優れた遠隔授業を施すことができるのか、など色々と考えさせられた。その中、忘れてしまっていたのがITセキュリティーの重要性である。教育機関には情報システムを管理する部門がある。今特にこの部門と教員との連携が必要なのではないだろうか。

教育者としては自分がインターネットで探してきたサイトやアプリを授業で使いたい。それは、自分達がやりたいこと、そしてそれをやることにより学生の知識がアップすることを望んでその様なサイトを使うのである。ここで特に注意しなければならないのはおやみに学生に学校外のサイトに登録させパスワードを設定させることである。メールアドレスやパスワードを許可なく使ってしまうと今度はITからお叱りを受けることになる。最悪の場合学期の途中から使えなくなる。

学生が教育機関のメールアドレスを使いそのパスワードと一緒に漏洩した場合、教育機関が外部から不正アクセスされ、最悪の場合ランサムウェアなどの被害に会うことがある。そうなる莫大な金額を払わなければならない。なので、ITは常に機関外部で使われているサイトが被害にあっていないか、またデータがどの国に保管されて



あり、またどこの国でバックアップされているかなどの情報を管理しなければならない。

学校外のサイトに学生が登録し、ログインして使う場合はITから許可を得なければならないと考えておいたほうが無難である。許可が降りるまで六週間くらいかかるのが普通。なので、秋学期に新しく使いたいアプリやサイトがある場合は今のうちにITと連携を取っておいた方がよろしいのではないのでしょうか。

## Digital Japan Bowl

LASA高校  
JTAT副会長 カーシュ弘子

デジタル版としては2回目の、第29回 National Japan Bowlが4月8日9日の二日間をかけて行われました。インタビューの代わりに会話のラウンドがあったり、Hopinという新しいプラットフォームを使って学校毎のミーティングルームや文化紹介の部屋へ自由に移動できたり、様々な新しい試みがされていました。予選や決勝戦は大変スムーズに進み、主催者のワシントン日米協会の方達の準備と努力はただならぬものであったのではないかと思います。



オンラインの長所としましては、やはり経済的な負担が少なかったことが何よりだったと思います。例年、参加生徒は旅費や宿泊費を払わなければいけませんし、格安の航空チケットを探すのに時間を費やしていましたが、今年はそれがなかったので引率者としては精神的にとっても楽でした。

また、桜祭りに参加できないJapan Bowlでは生徒のモチベーションが低くなってしまいうだろうと心配していたのですが、毎週金曜日の昼休みに、去年のレベル4で参加した生徒達が中心になって自主的に勉強会を続けてくれました。そして、今回の大会では例年の強豪校だけではなく、グアムから参加した高校が決勝に残り、それを見られたことも驚きとともに、生徒達に取って大きなモチベーションになったのではないかと思います。

## JTAT新会員紹介



エルパソ地区  
コロナド高校  
ファルボ絹子先生

J TAT会員の皆様、初めまして。ファルボ絹子と申します。2017年に教員免許を取得し、サブを経て現在エルパソのコロナド高校で日本語を担当しています。エルパソでは日本語のプログラムが縮小してしまい、現在では小中高を含めて、三つのキャンパスのみで日本語教育が行われています。本校の日本語クラスは、レベル1から4まであり、レベル4はAPとIBの混合クラスです。私のディストリクトで、唯一日本語クラスを提供している学校です。そのため、相談できる同僚がいないので、JTATのお勉強会などで他の先生とお話する機会があるたびに、皆さんに色々質問させて頂き助けていただいております。エルパソの日本語プログラムを広げて行きたいと考えていますが、まだ日々の授業の準備が精一杯の現状です。二年目で、まだまだ分からないことだらけなので、先輩方、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

フォートワース地区  
All Saints' Episcopal School  
William Matsuzaki 先生

I was born in Los Angeles and went to college in Minnesota (Carleton College), where I really began to take interest in learning Japanese.



Although I grew up speaking Japanese at home, outside of it, I didn't speak Japanese. The professors there drew my interest and I started teaching Japanese at a private school in Baltimore, where I stayed for 16 years teaching middle school Japanese, coaching tennis and cross country. I also ran an exchange program with Gakushuin High School for 10 years and started an exchange with Rikkyo. I then stepped into the role of middle school principal at another school in Maryland, where I also taught middle school Japanese, and I'm currently the Dean of Curriculum at All Saints' Episcopal School in Fort Worth where I oversee the curriculum for Early Childhood through 12th grades, professional development, and diversity work. I started a one semester Japanese elective class this year for high school students and love teaching Japanese.

My hobbies include playing tennis and running.

I am looking forward to get to explore Texas more. This is only my third year at this school, so things are relatively new. I am excited to get to know other Japanese teachers.

ラボック地区  
テキサス工科大学  
北橋 日本先生

JTAT会員の皆様、はじめまして。2018年秋学期からテキサス工科大学で日本語を教えている、北橋 日本(きたはし やまと)と申します。2018年から2020年まで、大学院生として応用言語学を勉強しながら日本語を教えていました。コロナウイルスの関係で新しい大学院生が来られなくなってしまったため、大学に一年残って講師として働かせていただくことになりました。残念なことに来学期からミシガン大学の方で働くことになり、テキサスを離れてしまいますが、JTATの先生方と学会等でお会いできたらと思っております。



テキサス工科大学には日本語主専攻はありませんが、副専攻があります。まだまだ小さいプログラムではありますが、教師学生共々、日本語を教えたり、学んだり日々励んでおります。JTATではあまり存在感がないかもしれませんがこの機会にどうかお見知りおきください。

コロナ禍ということもあって会員の皆様との直接での交流の機会があまりないのが残念ですが、近い将来お会いできることを楽しみにしています。どうぞ今後ともよろしく願っています。



## JTAT 東京五輪音頭YouTube再生回数10,000回突破しました！

ベイラー大学 プレフューメ裕子  
東京五輪音頭-2020- テキサス州日本語  
学習者版 (Tokyo Gorin Ondo 2020 by  
the students of the Japanese in Texas,  
USA: 新型コロナ感染症の影響で東京オリ  
ンピックの開催が危ぶまれていますが、この  
動画は2019年に、テキサス州の日本語学  
習者の絆を深めること、2020年東京オリ  
ンピックに向けお祭り気分を盛り上げることを  
目的に、テキサス州内の高校と大学合計16  
校、199名が参加し、東京五輪音頭を踊り



作成されたものです。現在再生回数10000  
回を突破しました。既に関連した方、まだ  
閲覧していない方も是非ご覧になってい  
ねをして下さい！

<https://www.youtube.com/watch?v=D-hEj2u0aCU>

This is a collaborative project among Texas schools that offer Japanese language education. 199 students from 16 universities and high schools in Texas participated.

近い将来、新たにテキサス州内の日本語学習者を対象に合同ダンスプロジェクトを企画できたらいいと思っています。何かいい踊りのアイデアがあればプレフューメまでご連絡ください。

### 編集後記：

記事を書いてくださった先生方、ありがとうございます。まだまだ通常とは違った状況が続きますが、引き続きお身体に気をつけて夏休み、そして秋学期をお迎えください。秋学期には新たに副会長（高校・大学）、そして書記を選ぶ役員選挙がございますので、その時期になりましたら自薦他薦、そして投票でご参加ください。よろしくお願いいたします。



ライス大学 JTAT副会長兼理事 尾崎